



但馬長寿の郷 すこやかセンター通信

目次

- 1 転任職員のおいさつ！
- 2 すこやかセンター散歩く歩行器のコーナーく
- 3 捨て目
- 4 バリアフリー展 参加報告
- 5 便利な福祉用具の紹介コーナー
- 6 研修情報



1. 転任職員のおいさつ！

この4月の人事異動で豊岡健康福祉事務所（保健所）から異動してきました。白石都と申します。

但馬生まれの但馬育ちで30年ちよつと保健所で保健師活動を行ってきました。私の実の両親、同居の夫の両親とも高齢で、どちらの両親もつれあいが必要介護状態ですが、元気な方のつれあいが介護をされており、介護保険サービスやご近所の方々の声かけ等のお世話になりながらも元気に暮らしています。両親が元気でいてくれるので、こうして私は仕事ができ感謝しています。

このたび但馬長寿の郷にご縁があつて勤務することになりました。ここで学んだことを両親に、さらに地域に伝えていきたいと思っています。

皆様方も但馬長寿の郷からの情報発信にアンテナを高くして、情報をキャッチし、気軽にお越し下さい。お待ちしております。



2. すこやかセンター散歩用歩行器のコーナー

みなさんご存知ですか？歩行器は日々進歩しています。患者や利用者の暮らしをより便利にしてくれる、さまざまな機能が加わった歩行器が発売されているのです。例えば、パーキンソン病などに多い、一旦歩き出すと小走りになるような方に、歩く速さに比例して自動で制動ブレーキがかかるものや、最初から一定のブレーキをかけられるものもあります。

片麻痺など、運動麻痺や感覚障害が原因で左右の力の入れ具合が異なる方には、後輪を左右別々にブレーキ調整することで、まっすぐ歩きやすくしてくれる機能の付いた歩行器もあります。

体が頼りにくくなると、急な坂道を押して登るのは大変です。電動自転車のように軽く押すだけで歩行器が動いてくれるものもあります。

認知症の症状の一つに、自分が居る場所や方向がわからなくなることがあります。こんなときにも、GPSを内蔵した歩行器を使えば本人の居場所を家族等が把握できます。

また、歩行器は大きいというイメージはありませんか。今はコンパクトで小回りがきき、狭い居室や廊下など屋内で使うのに便利な歩行器もあります。トレーが付いて物を運ぶのに便利なものや、買い物カゴを載せてショッピングができるものもあります。

今回ご紹介した歩行器は、すこやかセンターにすべて展示しています。ぜひ、お立ち寄りの上、使ってみてください。その便利さに患者や利用者におすすめになると思います。理学療法士 谷垣 佑樹



GPS 内蔵



抑制ブレーキ付き



買い物カゴが置ける



小回りよく、トレー付き



3. 捨て目

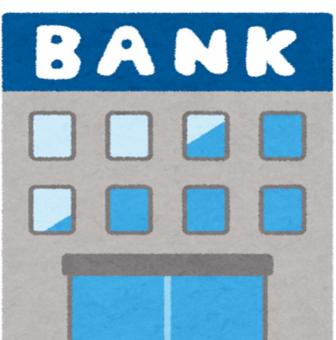
「物事には良い面と悪い面がある。」

悪いことにも良い面を探してみよう！

物事には、良い面と悪い面の両方があります。

4月3日（月）の朝、家族から頼まれていた振込みをするため A T M を利用しました。

いつものように順調に振り込み手続きを進めましたが、突然トラブルが発生！お金を投入し、後は確認ボタンを押すだけという段階で、なぜか投入口が開いたのです！「なぜ？」と、予想外の展開に戸惑いを隠せません。何が起きたのか分からずオロオロ…。そのとき、ふと画面を確認すると、金額が不足しているというので



す。そんなはずはないと思いつつも、どうしたものかと思案していると、投入口が閉じてしまいました。画面には、受話器を取るよう指示があります。仕方なく受話器を取って事情を説明すると、警備会社の社員が向っているということです。すぐそばに店舗があつて、そこには行員がいるにも関わらず、です。

その後、所定の手続きを終え、何とか振込みを終えることができましたが、絶対に仕事に間に合いません。職場に事情を説明し、「新年度初日から幸先悪いなく」と思って職場に向かいましたが、ふと、

A T M トラブルの対処は金融機関ではなく警備会社が行うという、今まで知らなかったことを知る機会でもあったことに気づいたので。そう思うと、良い経験だったと思うことが出来るようになり、気持ちが軽くなりました。



このように、物事には良い面と悪い面があります。これは介護の現場でも同じです。職員の腰痛は休職・離職につながりかねない反面、介助方法を見直す良い機会かもしれません。また、自立支援型地域ケア会議も、事例の理解に十分な時間を割けない反面、利用者の残存能力の維持・向上に目を向けるいいチャンスかもしれません。

今回の捨て目は、

「物事には良い面と悪い面がある。悪いことにも良い面を探してみよう！」

4. バリアフリー展 参加報告

4月20日から4月22日まで大阪で開催された『バリアフリー2017』に参加して来ました。今年は315社・団体が出展し、3日間で約9万人の来場がありました。

この展示会では各メーカーが開発した新製品や注目製品を実際にみて、触れて、体験できます。

今年の展示会では、ロボット関連の用具が多く展示されていきました。認知症の方の見守りや介助者の身体負担を軽減させるものなど幅広いロボットが紹介されています。今後の高齢者人口増加と働き手となる就労人口の減少を見据え、「利用者」と「介助者」の両面をサポートするロボットが求められており、そういった需要に応じようとする各メーカーの熱意が伝わってきました。

また、テクノエイド協会の取り組みについての講演では、福祉用具情報システム（T A I S）について説明を聞き、テクノエイド協会のホームページから検索すれば福祉用具の機能や使用方法、価格などの情報収集が行えると紹介されていましたので、みなさんもぜひ活用してみたいかがでし
ようか。

理学療法士 吉田 敏彦



5. 便利な福祉用具の紹介コーナー

スライディングシートをご存知ですか。ベッドに寝ている利用者の体の位置を動かしたり体位変換をする時に、無理に持ち上げたり引っ張ったりすると、利用者の中には「圧」・「ずれ」・「摩擦」などの力がかかります。また介助する側にとっては体力的に大きな負担になり、両方の負担軽減の対策をとることが重要です。そこで、便利なのがスライディングシートです。ツルツルとした素材でできたシートを利用者の体の下に敷きます。すると、体とマットレスの間の摩擦を軽減することができます。少しの力で簡単に体を上下・左右へ移動させることや体位変換ができます。無理に動かすことがないので、お互いの負担を減らすことができます。介護保険でレンタルもできますので、この機会に興味を持ってみませんか。平日の9時～17時は、常駐するセラピストが使い方をお伝えします。ぜひすこやかセンターにご来場ください。

理学療法士 谷垣 佑樹



6. 研修情報

17回『地域ケア研究会』開催のお知らせ

但馬長寿の郷では、但馬圏域の地域ケアに関わる保健・医療・福祉等の関係者が一堂に会し、お互いの知見を広め、地域ケアスタッフ全体の資質向上を図ることを目的に「地域ケア研究会」を毎年開催しています。

今年度は、先の日程で開催します。

開催日時：平成29年10月28日（土）10時～16時

場所：但馬長寿の郷 郷ホール

※演題発表は午後部（13：00～15：50）を予定



お問合せ ☎079-662-8456

但馬長寿の郷 地域ケア課 吉田、中西